

SWOT 事例

広い面積を持つ C 県には、県庁所在地の C 市に C 大学病院と C 医療センターという産科救急のセンター施設をもつ。C 市より車で 2 時間の東部には S 市立病院があり、この地域の産科医療を担っていたが、ここへの産科医師を派遣してきた C 大学病院が、2 人の医師を残し、他の 4 人の産科医師を引き上げることとなった。ただ、大学病院の医局としても何らかの形での協力をしたいとは考えている。市内の産婦人科医師は、10 名ほどいるものの、外来診療のみを行っており、産科救急は行っておらず、今後、産科救急の対応に苦慮している。

また、S 市には、パソコンのマイクロチップを作っている N 会社があり、業績は好調で、市の財政は、ある程度、豊かであり、保健医療福祉への投資もある程度可能である。ただ、高額報酬で、産婦人科医を募集したが、応募はない。また、同市には、助産師が多く、開業しており、産科医療への貢献を望んでいる。道路網は発達しており、地域や県庁所在地へは、高速道路を使用することができる。

一方、厚生労働省でも、産科救急推進のために、産科搬送システムの構築や遠隔医療 (E-Medicine) を行う場合には、その費用の 50% の補助する法案を国会で緊急に可決した。

上記状況を SWOT で分析し、対応策を考えてみましょう。